

連文

R E N B U N



Vol. 103
2017.8



定期総会を終えて

姉妹都市で文化交流

青木繁を偲んで

青年部 活動報告

美術文芸クラブ展

第51回 仲縄忌俳句大会

第19回 短歌部 歌評会

第11回 連文工芸部会員作品展

第63回 連文茶道部大茶会

久留米連合文化会

姉妹都市で文化交流

平成29年度

定期総会を終えて

平成29年度の連文定期総会が5月27日(土)午前10時より創世にて開催されました。オープニングセレモニーとして、フアリヤ作曲「スペイン舞曲」をヴァイオリン藤吉浩代さん、ピアノ原浩美さんの演奏で、総会の幕が上がりました。

- 第1号議案 平成28年度久留米連合文化会事業報告並びに決算承認について
 - 第2号議案 平成29年度久留米連合文化会事業計画並びに予算(案)について
 - 第3号議案 規約改正(案)1件について
 - 第4号議案 役員改正(案)について
- 提案・審議がなされ、いずれも原案どおり可決・承認がなされました。

表彰式では、連文功労賞2名・舞台芸術・華道・茶道部門連文会員賞6名、永年50年表彰者1名、永年30年表彰者11名の方々が表彰されました。

最後に平成28年度以降入会者36名の新入会員の方に自己紹介していただき、無事総会が終了しました。

(事務局)

米・モデスト市で揮毫会

久留米市・モデスト市姉妹都市締結25周年久留米市訪問団に参加して――

5月16日(火)から21日(日)まで、米国・モデスト市を訪問しました。16日は、前市長ギヤラード・マーシュ氏宅で、ホームパーティ。ここでは、松崎氏が水墨書画の即席揮毫を行い、描いた色紙を前市長や奥様にプレゼント。即席の色紙揮毫に会場内の皆様からは、驚きと称賛の拍手がおくられました。



17日は、市内のハート・ランサム・スクールで、6年生と中学1年生約130名に絵手紙の指導。桜・竹・月夜・犬や猫の動物を描いて、小筆で言葉を添えました。慣れない水墨画や日本語を一生懸命書く姿に、文化は万国共通の財産であると感じました。

18日はモデスト・ハイスクール(高校)

中国・合肥市と連文会員の作品展

合肥久留米友好美術館
開館25周年記念事業に参加して――

5月26日(金)から29日(月)までの日程で別府市議会議長を団長とし、7名で訪中しました。

メイン事業の「美術館建館25周年館蔵作品展」の式典は27日に行なわれ、今回の記念展には合肥側約90点、連文会員の

で、箏・三絃の先生方とのコラボ、水墨画のパフォーマンスを行いました。箏や三絃の悠長なリズムの中に、水墨画の融和。アメリカの自由な発想を持つ高校生に、日本文化の素晴らしさを披露して友好の絆を深め、なりやまぬ拍手が、達成感を残してくれました。その日の午後からは、ジュニアアカレッジ内での友好の植樹祭。久留米市の街路樹でもある「銀杏の木」が、次回10年後訪問の時、どのくらい大きくなっているか楽しみです。夕方には、マックヘンリー・マンションで記念式典とレセプションが行われ、その席でも箏・三絃と水墨画2幅のコラボレーションをおこない、また、前市長や市長、モデスト国際姉妹都市委員会の方々に、諸石氏揮毫の「友好」「愛」の色紙が贈呈されました。

(書道部・諸石祥雲、松崎睦生、松崎妃良)

「自分は日本の文学者の中で谷崎潤一郎が好きだが、貴方は？」と、聞かれたので、先般久留米市美術館で開催された「川端康成展」を思い出し、「彼の美しい文体が好きです」と、答えました。今回の派遣の目的を「和」を以って果たしたと思っています。

(洋画部・江口登、書道部・元谷京子)



青木繁を偲んで

第64回 けしけし祭

平成29年3月19日(日)11時、200名の人々がかぶと山の山頂に集い青木繁画伯をしのびました。

オープニングセレモニーでオーボエの稲吉恵梨奈さんにどこかで春が・早春賦・朧月夜を聞かせていただきました。

市長はじめ献酒、祭文の後、山本小学校3年生による青木繁研究発表と母います国の合唱がありました。

次に連文の会員による献花・献茶・献書・献句・献歌を行いました。

〔献花〕 田中 千舟(華道部)

〔献茶〕 石井 宗久(茶道部)

〔献書〕 龍頭 喜舟(書道部)

〔献句〕 大坪 久美枝(俳句部)

廻りくる忌日の風も春めきて

谷川 章子

遠くより初音の届く繁の忌

大島 シゲ子

繁忌やけしけし山の木の芽風

大力 妙子

〔献句〕 吉本 能子 (川柳部)

パリっ子よ青木坂本ご覧じろ

堤 日出緒

永遠に絵画を偲び旨い酒

佐藤 嘉代子

〔献歌〕 白土 久美子 (短歌部)

ふるさとをひとたび捨てし哀しみは
けしけし山の空に広がる

白土 久美子

今年は東京から高山喜一郎さん親子と友人の石橋凌さんがお越し下さいました。



道部門の入選入賞

873点を2月8日(水)

12日(日)、久留米市庁

舎2階のホワイエ・

アトスペースにて

展示し、表彰式は2月12日(日)、市庁舎2階のくるみホールで行ないました。

大賞 絵画の部

城島中3年 島 秀暢さん(久留米)

絵画部門は2,978点の応募があり、かなりと厳選となったが、城島中学校3年生の島秀暢さんの作品が大賞に選ばれた。草原のゾウガメを大胆に捕え、多様な技法によって色面パターンで構成された大変ユニークな作品。

(洋画部長・宇美拓哉)

※作品は表紙に掲載。

大賞 書道の部

二ツ川小2年 大井手結衣さん(柳川)

小学二年、大井手結衣さんの「はぜ」の作品は野太い線で伸びやかに書かれて字形、用筆法共に素晴らしく壮大で迫力ある堂々の作品です。誠に大賞に相応しい作品です。

(書道部長・宮崎悠雲)



青木繁旧居 華道展

草月流万年青会中野松芳社中・八尋峰子

平成29年3月18(土)・19(日)に開催。

毎年恒例の青木繁旧居にての、草月流

中野松芳社中の作品展を開催致しました。

工芸部の八尋峰子氏の器に生けさせて頂くことが今回のテーマでした。器の力に触発され、出品者の意気込みも一層増しました。器と花と旧居と繁忌の風が出会い、各々の作品が生き生きとしていたと感じました。二日間の開催、多くの皆様に観て頂くことが出来、心から感謝です。日本の伝統芸術と言われる「華道いけばな」。しかしながら、出来た作品はその瞬間から枯れ始め、消えてゆく。花を活けることで何を生み、現代に何が出来、何を伝えることが出来るのか問い続けていきます。(華道部・中野松芳)



第15回
ジュニア青木繁展
小・中・高校生を対象にした公募展。絵画部門に2978点、書道部門に1934点の応募がありました。絵画部門の入選入賞353点を2月14日(火)18日(土)、書

青年部プロデュースによるパフォーマンス 「神威譚章」爆発する夢!!

— 連文受賞者祝賀会 —

平成29年5月27日(土)に開催された「久留米連合文化会総会」終了後に執り行われた受賞者祝賀会において、邦楽部、洋楽部、洋舞部、書道部のパフォーマンスが、青年部の演出で上演されました。

「見る前に翔べ」なかった四つの部が、その垣根を情熱と若年の無手勝流で乗り越えたことの意義が、これからの連文の方向性に新しい光明を見出したのは、間違いない事だろうと感じています。

以下パフォーマンス「神威譚章」(吉岡孝悦作曲)をレポートし、最後にパフォーマンスに参加した箏奏者みやざき都さんの一文を掲載します。

薄暗い背景に神威譚章の墨筆が浮かび上がり、スポットライトに照らし出された奏者に紡ぎ出される、箏とマリimbaのたゆたうような音のかけあい。それは季節を変化させるように、時に激しく、時に静謐に交錯する。

箏とマリimbaの音に優しく抱かれ、優美と可憐を盗み、手に入れてしまった踊り子のバレエ。

譚の二文字から浮かび上がった二つ

の物語。

ヤマトタケル(倭健命)物語と伊勢神宮神威譚。そして語り継がれたアイヌの伝承、カムイ・コタン―神威古譚(カムイとは神を意味し、古譚は村を意味する)。以下、旭川教育委員会の説明を拝借する。

船が唯一の交通手段だった時代、兩岸



から奇岩怪石が迫る激流のこの地は、神(カムイ)に祈りを捧げて通らなければならぬ所でした。

アイヌ民族にとつては、大地も水も火も動植物も全てが神様を宿す存在でしたが、通行人を苦しめる難所だったことから、ここでのカムイは魔神を意味する、という説も有力です。

激流の奇岩怪石に取り付いているカムイ(魔神)を、箏とマリimbaの調和する音の中に探ってみる。静寂が支配し、その後に沸き起こる拍手、拍手、拍手。

頑なに穿たれることのなかった奇岩怪石というしがらみに、やっと二つ目の穴が穿たれた。それも一つ目の穴より、ちよつとだけ大きく、ちよつとだけ品良く、奇岩怪石というしがらみが破壊され、新しい風が吹き抜けるのはいつの日の事だろうか。
(広報委員会)

20数年ユースレイ会員の私がお電話を受けたのは4月中旬のこと、とても嬉しく、この興味深いお話を即諾しました。受賞者祝賀会にて、書道、バレエ、音楽のコラボレーションの舞台をとの青年部の企画です。数週間後の初顔合わせから、後日1回の合わせを経て、リハーサル本番直前まで、ああでもないこうでもない、と皆で創り上げる時間は、とても楽しいものでした。

新緑まぶしい5月の祝賀会当日、書道の鶴亀山さんの力強い作品が飾られた

舞台上、マリimbaの田代佳代子さんと箏の私、みやざき都が演奏、それに合わせて創作された

藤田瑠理子さんの美しいバレエが舞われ、最後は鶴さんの「連文青年部」押印で舞台を結びました。

発案から共に創り上げて下さった青年部の宇美さん、吉本さん、当日、所作の指導をして下さった藤間勘志龍さん、他たくさんの先生方のご協力に支えられてのことと感謝しております。

また、懇親会にも出席し、懐かしい方々の笑顔に接し、新しいご縁もできて楽しいひとときを過ごしました。自分の長年の不義理を省み、また関われる機会があることを切に願った次第です。

題字にもなった演奏曲「神威譚章」は、古事記にてでくる、倭健命の神話をモチーフとして書かれた曲で、神威とは神の威光を意味しています。

この様な機会を頂いたことに感謝し、これからも、会員の皆様に光が降り注ぎ、益々のご発展がありますことを、祈念いたします。

(青年部/邦楽部・みやざき都)



「美術文芸コラボ展」を終えて

本コラボ展は久留米市美術館において3月8日(水)より26日(日)まで3週間に亘り開かれ、4千人近い入場者があり盛会裡に終了しました。

美術部門138名、文芸部門50名が参加し90点(組)が事前の打合せもなく揃って完全展示が出来た事はミュージズ神に感謝すると共に表現者としての各人の誇りと責任を強く示すものであり実行委員会として会員共々喜びたいと思います。

写真部では平成2年より10年間、俳句部の協力を得て、写俳展を開催し毎回千人を超える来場者を得、会場の井筒屋デパート様からも大変喜んでいただきました。今回のコラボ展は写俳展の拡大版として企画しました。

森会長時代の平成25年4月に企画提案し9月には部長10名による実行委員会が発足、木村会長を初め作業部会4名が承認されました。以来4年の曲折を経て漸く開催となったものです。

石橋美術館の移管に伴う改装工事があり久留米市総合美術展の会場にも事欠く始末、昨年落成したシティープラザ展示室を検討したり、会場が決まらないまま、一時はコラボ展の企画も漂流状態となりましたが、企画運営委員会からの助力があり、その後、久留米市美術館の



日程が決まり5ヶ月遅れとなりましたが久留米市総合美術展とともに開催が決定しました。

作品サイズが正確に掴めないまま、壁面も縮小されており、飾付には不安がありました。しかし、皆さんの協力で窮屈な展示ながら各部共、予定のスペースに収めることが出来ました。それでも洋画部には大変な苦勞をかけてしまい、内階段側面に三点、第四室に一点の展示を余儀なくされる結果となりました。

展示作については①面白いアイディアだ②狙いが解り易く興味深く鑑賞出

来る③それぞれの作品が響き合い高め合っている等、総じて好評だったと思います。

テーマ「櫛多き国を未来へつなごう」について再考する時、今年のけしけし祭で榎原市長の追悼の言葉の中にあつた、「怨恨・憤懣・呪詛」と言う青木繁の苦惱、そして「海の幸」がJR久留米駅前看板のように立てられている、その一方で櫛風景が激減し水田のみが増大して行く現状を考える時、筑紫平野を心の故郷として「…母います国、櫛多き国」と心に刻んで来た青木繁の魂は本当に鎮まってしまうのでしょうか、そして「人はパンのみにて生きるに非ず」と問わざるを得ません。(実行委員長・井口益次)



作家名「秋山のみ子(工芸)、田代直美(短歌)、森史陽(書)。作品は事前の打合せが功を奏し、コラボ(協働)の域を超えフュージョン(融合)の域に達した作品として選ばせていただきました。(井口)

第63回 連文茶道部大茶会

茶道部恒例の大茶会(第63回)を4月16日(日)、久留米シティプラザ和室(裏千家) 中会議室(江戸千家) 展示室(表千家不白流)にて開催致しました。今回の受付は大日本茶道学会)、休日日本礼道小笠原流でした。お天気にも恵まれアクセスの良さもあり当番券をお求めになられるお客様も多く日常とはかけ離れた静寂の中で一服のお茶を楽しみました。(茶道部・井上仙雅)



第44回久留米謡曲連盟謡曲大会

1月29日(日)、久留米まつり協賛「第44回久留米謡曲連盟謡曲大会」の開催にあたり、久留米市からの後援と久留米連合文化会共催として、新装となった久留米シテイプラザ久留米座に、新春限定の能舞台が設営されることを聞き、この施設を利用することとなりました。

多くの方たちにも身近に謡曲を体験する機会を提供することで、一層のご理解と興味を深めていただきたく盛況のうち開催されました。今後も会員一同、久留米市の発展と文化振興により一層尽力してまいります。

(謡曲部 部長・蒲池 洋一)



第51回 仲縄忌俳句大会

6月27日(火)、心配していた雨も降らず涼しい遍照院で、高山彦九郎先生225回忌法要がありました。

法要の後、えーるピア久留米にて、俳

句大会を行いました。

選者3名の特選句(◎)佳作句は次の通りです。

黒田充女選

◎梅雨の燭点しはじまる墓前祭

谷川 章子

墓前祭扇子の風を分け合ひて

大日方明美

緑陰の方へ席替へ墓前祭

大日方明美

◎万緑の静寂の底ひ仲縄忌

谷川 章子選

以白忌や梅雨の句会の親しさに

後藤 隆

仲縄忌木々の匂ひも梅雨のもの

大坪久美枝

後藤 隆選

◎旅の果て無念の血潮梅雨深し

上野 幹久

以白の忌守りつゞころ露涼し

宮崎みゆき

仲縄忌国に行く末案じつつ

上野 幹久

(俳句部・大坪久美枝)



華道家元池坊久留米支部花展

2年に一度の支部花展をシテイプラザ展示室で開催しました。展示室のライトもうまく当たり過ぎ行く春を満開の花々で表現しました。

初めての会場で迷われた方も多かったようですが、100瓶程の作品を2日間千人を超える方々に観ていただき感謝しています。(華道部・坂本信子)



連文水墨画部スケッチ旅行

連文水墨画部として例年行っているスケッチ旅行を今年は小石原へ行きました。小石原焼伝統産業会館や窯元見学と里山のスケッチを楽しみました。



(水墨画部・稲吉信子)

久留米がすりのうた

平成29年3月18(土)・19(日)、久留米シテイプラザ久留米座にて開催。

久留米餅の創始者、井上伝の半生を久留米弁まる出で演じる演劇公演が行われました。公演当日は「かさこじぞう」で有名な児童文学界のレジエント、原作者の岩崎京子氏、長野ヒデ子氏、そして久留米餅技術保持者の森山富子氏が駆けつけるといふ、豪華な公演となりました。(映画演劇部・今村好典)



久留米市民功労賞

芸術奨励賞祝賀会で

総会後の祝賀会で、民謡部古賀カツ子さんの長崎浜節、平戸節が披露された。カツ子さんが、乾杯の発声をした来賓、西日本新聞久留米総局長の母上だった事もあり「子供の参観日の心境です」と話す古賀総局長の表情がとても印象的でした。(民謡部・石原正子)

19回 短歌部 歌評会

第19回歌評会を、7月1日(土)、えーるピア久留米205号室にて開催。出詠数22首。出席者20名。選者2名及び互選による結果は、次のとおりです。

大津留敬選

一位 予定せし仕事半ばに夕暮るる八十路の頃は捗りぬしに 武藤桂子

二位 わき芽掻き終へしわが手に青くさきトマトの匂ひつきて落ちざり 本松純子

三位 山かげの茂る葉陰にひとりして柿の摘蓄励む人あり 古賀照子

藤吉宏子選

一位 鉄分を含む茶色の池のなか蓮の花咲き河骨の立つ 田代直美

二位 山かげの茂る葉陰にひとりして柿の摘蓄励む人あり 古賀照子

三位 夕暮るる川の中洲に鷺一羽身じろぎもせず佇ちあて長し 宮沢真由美

互選

一位 予定せし仕事半ばに夕暮るる八十路の頃は捗りぬしに 武藤桂子

五十年連れ添い来たる免許証別れのまぢかにせまる 大塚さゆみ

姉の家亡きあと他人の住みをれど在りし日のまま紫陽花の咲く 名島ミヤ子

母植ゑしガーベラの株太くして十七回忌の供花にとぞ切る 小林よし子

(短歌部・堀江英毅)

11回 連文工芸部会員作品展

6月6日(火)～11日(日)えーるピア久留米市民ギャラリーにて、恒例の「工芸部作品展」を開きました。総来場者数530名と、大盛況のうちに展示会を終えることが出来ました。新たに迎えた会員3名を含め、バリエーション豊かな作品が増えて、会場が以前にも増して更に華やかになった印象を覚えました。引き続き、技術向上も含め、お互いの「美」を受け入れつつ、作品を作り上げるクリエイターとしての意識を高めながら、更なる「表現」を追究していきたいと思えます。

(工芸部部長・廣藤圭)



第6回坂本繁二郎生誕祭茶会

(江戸千家久留米不白会)

坂本繁二郎旧居において3月20日(祝)茶会を開催いたしました。今年は開館より入場者数が5万人となり記念の茶会となりました。

坂本画伯も愛用されたであろうお茶碗でお抹茶を点てひとときを過ごしいただきました。さまざまな方々との出会いがあり、有意義な一日となりました。

(茶道部・有吉宗夏)



第6回坂本繁二郎生誕祭茶会



水道週間ふれあいフェア呈茶席



水天宮春大祭 献茶並びに野点

全国総本宮水天宮春大祭

献茶並びに野点

(表千家不白流九州支部)

今年も5月3日(祝)に実施されました。この日は、年に1回だけ梅林寺の第19世悠江軒老師様を導師に修行僧の方々と、水天宮の宮司様はじめ神職の方々の神仏習合の合同祭典が行われる日です。定刻の午後2時は、天候が急変し雷雨になりましたが、祭典の中で、水天宮の御祭神に無事献茶が行われました。

水道週間ふれあいフェア呈茶席

(日本礼道小笠原流)

6月4日(日)、百年公園に於いて煎茶をお出し致しました。茶葉も八女の煎茶をお出しし、新茶の香りに包まれながら、大勢の家族づれの方々が「甘くて美味しい」との声が聴かれたいへん高評価でした。筑後川水を浄化し作られた水、今年も筑後川の恵みの水に感謝しながらの一日でございました。(茶道部・結城美泉)

献茶の添釜として行っている野点は、日吉こども茶道教室(文化庁の支援金で企画している伝統文化親子教室)が担当しました。立礼のお手前を見事にこなす子ども達・次々とお茶を運ぶ子ども達に「よく覚えてありますね。」「仕事草が可愛いですね。」など、温かい眼差しが注がれました。子ども達も自信を深め今後のお稽古に励むことでしょう。

(茶道部・増崎宗寿)

平成29年 1月～7月

- 文推協ニューイヤークンサート 1/8(日)・萃香園
- 久留米座舞台披露記念公演(喜多流) 1/22(日)・久留米シティプラザ久留米座
- 連文役員新年会 1/28(土)・ホテルマリターレ創世
- 第44回久留米謡曲連盟謡曲大会 1/29(日)・久留米シティプラザ久留米座
- 第15回ジュニア青木繁展(絵画・書道) 2/8(水)～18(土)・久留米市役所2F
- 第45回西日本新聞TNC文化サークル 3/5(日)・石橋文化ホール
- 久留米市総合美術展 3/8(水)～26(日)・久留米市美術館
- 美術文芸コラボ展 3/8(水)～26(日)・久留米市美術館
- 青木繁旧居華道展(童月流万年青会中野松芳社中・八尋峰子工芸部) 3/18(土)～19(日)・青木繁旧居
- 久留米がすりのつた 3/18(土)～19(日)・久留米シティプラザ久留米座
- 第64回けしけし祭 3/19(日)・かぶと山
- 茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会) 3/20(祝)・坂本繁二郎生家
- 玉垂宮献茶(表千家不白流九州支部)(野点) 4/9(日)・玉垂宮
- 第63回連文茶道部大茶会 4/16(日)・久留米シティプラザ
- 華道家元池坊久留米支部花展 4/22(土)～23(日)・久留米シティプラザ
- 久留米文学第63号発行 5/1(月)・発行
- 水天宮献茶(表千家不白流九州支部)(野点) 5/3(祝)・水天宮
- 久留米児童合唱団第46回定期演奏会 5/4(木)・石橋文化ホール
- 第36回心象会展 5/9(火)～14(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
- 向坂万基子展 5/23(火)～28(日)・ギャラリーアールグレー
- 平成29年度連文定期総会・祝賀会 5/27(土)・ホテルマリターレ創世
- 学校茶道合同茶会(裏千家淡交会久留米支部) 6/11(日)・くるめりあ六ツ門6F
- 第11回連文工芸部作品展 6/6(日)～11(日)・えーるピア久留米
- 第51回仲縄忌俳句大会 6/27(火)・遍照院
- 仲縄忌供茶(裏千家淡交会久留米支部) 6/27(火)・遍照院
- 松師古と仲間たちによる子どもたちの発表会 7/26(水)～31(月)・岩田屋久留米店4F
- 第15回青木繁旧居呈茶(江戸千家久留米不白会) 7/30(日)・青木繁旧居
- 青木繁旧居生け花展示(童月流万年青会中野松芳社中) 通 年・青木繁旧居
- JR久留米駅生け花展示(小原流童月流嵯峨御流/毎週交代) 通 年・JR久留米駅構内

連文は7月12日九州北部豪雨災害見舞金として東峰村文化協会と朝倉市文化団体連合会に各2万円を送りました。

平成29年 8月～12月

- 諸石祥雲「漢字のすがた・仮名のすがた」書作展 8/2(水)～31(木)・筑邦銀行本店
- 杉並児童合唱団久留米公演 8/8(火)・久留米シティプラザザグランドホール
- 書の歩み六十年「森史陽傘寿記念書展」 8/11(金)～16(木)・久留米シティプラザ展示室
- 第36回創元会福岡支部展 9/6(水)～9/10(日)・久留米市美術館
- 第37回連文会員華道展 9/6(水)～9/11(月)・岩田屋久留米店
- 第30回大日本茶道学会福岡地区研修会 9/9(土)～10(日)・大濠公園日本庭園
- イーハトーボの劇列車(市民劇団ほとめき倶楽部) 9/16(土)～17(日)・えーるピア視聴覚ホール
- 第21回下水道フェア呈茶(表千家不白流九州支部) 9/24(日)・南部浄化センター
- 久留米吟詠道連盟第58回吟詠詩舞道大会 9/24(日)・石橋文化センター共同ホール
- 第53回久留米三曲協会定期演奏会 10/1(日)・石橋文化センター共同ホール
- 第16回ジュニア青木繁展(絵画)(書道) 10/6(金)～10(火)・久留米市役所くるみホール
- 日本舞踊にチャレンジ(ワークショップ) 10/19(木)～23(月)・久留米市役所くるみホール
- 高良大社献茶(表千家不白流九州支部)(野点) 10/9(祝)・久留米シティプラザ和室
- 第66回久留米市総合美術展 10/10(祝)・高良大社
- 第46回連文会員美術展 10/11(水)～29(日)・久留米市美術館
- 第53回久留米短歌大会 10/11(水)～29(日)・久留米市美術館
- 第25回くおが県文化祭2017短歌大会(表彰) 10/14(土)・久留米シティプラザ久留米座
- 第17回福岡県わんすぽっ文化祭短歌交流会
- 日吉神社観月茶会(裏千家淡交会久留米支部) 10/15(土)・日吉神社
- 第15回木村フォトセミナー写真展 10/18(水)～22(日)・えーるピア久留米市民ギャラリー
- ジュニア文芸大会(表彰式) 10/5(日)・市役所くるみホール
- 第29回南祥会書作家展 10/7(火)～12(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
- 日吉神社献茶(表千家不白流九州支部)(野点) 10/11(土)・日吉神社
- 演劇公演「極め付け好色おせん」 10/11(土)～12(日)・シティプラザCボックス
- 第71回久留米茶道連合会法要大茶会 10/12(日)・梅林寺
- 北筑後ブロック11文化団体古典芸能祭 10/12(日)・朝倉市総合市民センター
- 第64回桃青忌俳句大会 10/23(祝)・御井校区コミュニティセンター
- 第24回賢順記念全国箏曲コンクール 10/23(祝)・石橋文化センター共同ホール
- 裏千家淡交会久留米支部第64回歳末助け合い茶会 12/3(日)・石橋文化センター共同ホール
- フジタバレエ研究所第33回バレエリサイタル 12/10(日)・久留米シティプラザ和室
- 山下寿京さんの遺族より連文に20万で寄付いただきました。 12/24(日)・久留米シティプラザザグランドホール

計報(平成29年1月～7月) 謹んでご冥福をお祈り致します。
 中村 富さん(写真部)平成29年2月11日 若柳香紅さん(日本舞踊部)平成29年7月18日
 山下寿京さん(華道部)平成29年4月12日 (大丸吉子)